

自工会 二輪車委員会 メディアミーティング (オンライン開催)

2022年 3月14日

一般社団法人 日本自動車工業会



自工会 二輪車委員会 メディアミーティング

【次第】

- ・開会
- ・日髙委員長挨拶、テーマの説明
- ·二輪車産業政策ロードマップ2030 自工会担当施策のご説明 (川瀬二輪車企画部会長)
- ·質疑応答、意見交換
- ・閉会



自工会 二輪車委員会

委員長 日髙 祥博





政策課題

事故死者数ゼロ

- 1.実用・趣味利用の双方に向けた安全運転啓発・教育
- 2.安全装備の普及拡大

カーボンニュートラル達成への貢献

3.二輪車のカーボンニュートラル達成に向けた現実的な施策の策定と着実な推進

購入・利用環境の整備と社会・他モビリティとの共生

- 4.二輪車の役割・優位性の整理と地方公共団体と連携した環境整備推進・啓発
- 5.社会基盤の整備
- 6.社会との共生実現
- 7.保有以外の二輪車利用拡大への対応
- 8.販売店のさらなる信頼性向上
- 9.安心な中古車市場の拡大

快適・楽しさの訴求

- 10.若者、潜在ユーザーへの情報発信
- 11.地方公共団体と連携した取組み・仕組み作り



二輪車産業政策 ロードマップ2030 目標

(各実施施策の) 2030年ゴールイメージ

ロードマップ2030 目標

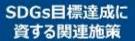
社会への責務を遂行しつつ、2030年代初頭に向けて国内二輪市場を活性化

社会への責務の遂行

二輪車ならではの提供価値

世界に通用する素晴らしいバイク文化の創造とイメージ向上

ビジョン (ありたき姿) 二輪車ならではの価値提供を通じ、人々の暮らしに「感動」を届け、 日本経済・社会と二輪市場の発展、雇用維持に貢献





■実用・趣味利用の 双方に向けた安全 運転啓発・教育



■ 二輪車のカーボンニュ ートラル達成に向けた 現実的な施策の 策定と着実な推進





- 社会基盤の整備
- ■二輪車の役割・優位性の整理と、地方 自治体と連携した環境整備推進・啓発
- ■保有以外の二輪車利用拡大への対応

実施施策と実施団体 まとめ

JAMA 日本自動車工業会 AJ オートバイ事業協同組合 JMPSA 日本二輪車普及安全協会 JAIA 日本自動車輸入組合 JAPIA 日本自動車部品工業会 JABA 日本二輪車オークション協会 JMCA 全国二輪車用品連合会 UMDA 中古二輪自動車流通協会



政策課題の方向性

実施施策

実施団体

		天心山や								
政策課題		JAMA	AJ	JMPSA	JAIA	JAPIA	JABA	JMCA	UMDA	地方 公共回復
事故死者数ゼロ										AKAH
■実用・趣味利用の双方に向けた 安全運転啓発・教育	■一般ライダー向け安全運転教育の充実と啓発■二輪車利用高校生への安全運転教育の充実と体制強化■二輪車利用事業者・通勤利用者への安全運転教育の強化	•	•	•	0	•	•	•	•	
■安全装備の普及拡大	■ヘルメット、胸部プロテクターの適正着用推進 ■運転に適したウエア、プロテクターの着用推進と啓発		•	•	•			•		**
カーボンニュートラル達成への貢献										
■二輪車のカーボンニュートラル達成に 向けた現実的な施策の策定と着実な 推進	■電動二輪車の普及に向けた充電システム等の普及・推進■環境負荷の低い二輪車の特性を踏まえた、短距離移動の用途からの電動化■エネルギー・インフラ政策と連動した、カーボンニュートラル達成に向けた電動車、合成燃料等の普及に向けた着実な推進	•	•		•	0				
購入・利用環境の整備と 社会・他モビリティとの共生										
■二輪車の役割・優位性の整理と、地方 公共団体と連携した環境整備推進・啓発	■新しいモビリティの出現を踏まえた混合交通での役割と優位性の整理■上記の証明や環境整備のために地方公共団体と連携し推進・役割を啓発	•	•	•						•
■社会基盤の整備	■地方公共団体、関係団体と連携した駐車場整備推進と駐車場規制への提言■高速道路の二輪車料金の適正化に向けた推進■二輪車の通行帯確保と通行禁止規制解除に向けた活動推進■二輪車のあるべき車両区分と免許制度の見直し	•	•	•	•					•
■社会との共生実現	■不正改造の撲滅に向けた活動推進 ■バイク防災隊支援活動		•	•			•	•		•
■保有以外の二輪車利用拡大への対応	■レンタル・シェアの成長のための協調領域の整備									1
■販売店のさらなる信頼性向上	■公正競争規約の遵守に向けた販売店指導 ■販売店での店頭安全指導の強化		•	•			•			2
■安心な中古車市場の拡大	■購入者に対する優良中古車の選び方の発信■走行距離改ざん防止策の推進		•				•		•	
快適・楽しさの訴求										
■若者、潜在ユーザーへの 情報発信	■若者、潜在ユーザーに向け発信内容とその適切な発信手法の検討 ■関連趣味・娯楽の業界団体とのコラボレーション企画検討 (キャンプ、ファッション、e-sports等)	0	•	•	•	•	•	•	•	
■ 地方公共団体と 連携した取組み・仕組み作り	■二輪車の魅力を伝えるイベントの開催・他地方公共団体への横展開や 二輪車の有用性を活かした観光資源開発	•	•	•	•	•	•	•	•	•



二輪車産業政策ロードマップ2030 2030年ゴールイメージ達成に向けた 自工会担当施策

〜メディアミーティング〜

一般社団法人 日本自動車工業会



「事故死者数ゼロ」に向けた 安全領域の取組み方向性

ビジョン、ロードマップ2030 目標

ビジョン (ありたき姿) 二輪車ならではの価値提供を通じ、人々の暮らしに「感動」を届け、 日本経済・社会と二輪市場の発展、雇用維持に貢献

世界に通用する素晴らしいバイク文化の創造とイメージ向上

ロードマップ 2030目標

社会への責務を遂行しつつ、2030年代初頭に向けて国内二輪市場を活性化

二輪車 ならではの 提供価値



社会へ 果たす責務 移動需要、モビリティが多様化する中で 手軽・快適でエコフレンドリーな移動・輸送を 支えるパーソナルな"生活の足"を提供 〈実用視点〉

> 2050年カーボンニュートラル 達成への貢献 〈環境視点〉

人々の生活と価値観が多様化する中で 関連する趣味・娯楽と結びつきを深め 様々な"二輪車の楽しさ"を提供 〈趣味視点〉

技術・仕組みの両面から 2050年事故死者数ゼロを目指す 〈安全視点〉



安全領域の2030年ゴールイメージ

実施施策と2030年ゴールイメージ…安全領域

政策課題

事故死者数ゼロ

政策課題の方向性

1.実用・趣味利用の双方に向けた 安全運転啓発·教育

2.安全装備の普及拡大

実施施策

- ①一般ライダー向け安全運転教育の充実と啓発
- ②二輪車利用高校生への安全運転教育の充実と体制強化
- ③二輪車利用事業者・通勤利用者への安全 運転教育の強化
- ①ヘルメットの適正着用、胸部プロテクターの着用推進
- ②運転に適したウエア、プロテクターの着用推進と啓発

2030年ゴールイメージ

2050年事故死者数ゼロを目指して

- ■二輪事故死者数半減
- (2020年比 警察庁データ)
- ■ヘルメット脱落による死亡事故半減 (2020年比 警察庁データ)
- ■胸部プロテクター有用性の認知度向上



「事故死者数ゼロ」に向けた 安全領域の取組み方向性

実施施策

具体的実施施策

①二輪車利用高校生への安全運転 教育の充実と体制強化

- > ターゲット県を定め、教育委員会、PTA、安全協会、日本二普協、AJ等 関係者との議論を行い、バイクに乗る高校生に安全運転教育を届ける仕 組みを構築
- > 二輪乗車数、事故発生状況から優先順位付けを行い展開を拡大
- > 二輪車関係団体と連携強化し取り組みを加速

②一般ライダー向け安全運転教育の 充実と啓発

- ③二輪車利用事業者・通勤利用者へ の安全運転教育の強化
- → 二輪事故で多い、右直/出会い頭/単独事故防止に向け、免許更新時講習などを通し、二輪ライダーのみならず四輪ドライバーへの訴求を検討
- 若年/壮年/高齢者層などの事故の多い層への訴求方法検討や免許更新時講習や違反者講習等を通し、全二輪ライダーや四輪ドライバーへの訴求を検討
- ▶ 上記から得られた知見を、二輪利用事業者・通勤利用者並びに、一般ライダーへの訴求も検討

④ヘルメット脱落死亡事故半減に向 け、適正着用訴求方法等の検討

- ▶ 自工会 二輪車事故分析分科会と連携し、ヘルメット脱落の特徴分析を 行い、得られた知見から脱落防止策の検討を行う
- ▶ あご紐未結束や二輪乗車用ヘルメット以外の着用に対する対応方法の検 討を実施

2030年 ゴールイメージ

全国の高校生に安全運転 教育を届け

■高校生の二輪事故死者 数半減

(2020年比 教育普及協データ)

2050年事故死者数ゼロを 目指して

- ■二輪事故死者数半減(2020年比 警察庁データ)
- ■ヘルメット脱落による死 亡事故半減

(2020年比 警察庁データ)



「事故死者数ゼロ」に向けた 安全領域の取組み方向性

実施施策

①二輪車利用高校生への安全運転 教育の充実と体制強化

②一般ライダ

充実

技術

安全技術

三輪 5対応

会、日本二普協、AJ等 R全運転教育を届ける仕

を行い展開を拡大

別、年齢層別の事故分析か

2030年 ゴールイメージ

全国の高校生に安全運転 教育を届け

■高校生の二輪事故死者 数半減

(2020年比 教育普及協データ)

2050年事故死者数ゼロを 目指して

地死者数半減

る死

2050年二輪車事故死者数"ゼロ"を目指し

2030年二輪車事故死者数"半減"達成

人

事故分析を基に 安全教育・啓発活動、 必要に応じた法整備の 働きかけ 上記から得られた知見を、二輪利用事業者・通勤利用者 イダーへの訴求も検討

自工会 二輪車事故分析分科会と連携し、ヘルメット脱る行い、得られた知見から脱落防止策の検討を行う

あご紐未結束や二輪乗車用ヘルメット以外の着用に対す 討を実施 環境

道路インフラ、法整備



「カーボンニュートラル達成への貢献」に向けた取組み

カーボンニュートラル達成への貢献

政策課題の方向性

実施施策

2030年ゴールイメージ

3.二輪車のカーボンニュートラル 達成に向けた現実的な施策の 策定と着実な推進

- ① 電動二輪車の普及に向けた充電システム等の普及・推進
- ②環境負荷の低い二輪車の特性を踏まえた、 短距離移動の用途からの電動化
- ③エネルギー・インフラ政策と連動した、カーボン ニュートラル達成に向けた電動車、合成燃料 等の普及に向けた着実な推進

■電動車、合成燃料対応車 等によるカーボンニュートラル 達成への貢献



「カーボンニュートラル達成への貢献」に向けた取組み

二輪車委員会は2050年カーボンニュートラル 達成に向け全力で取り組む 但し、アプローチは一つだけではない

コミューターを除き 電動化のハードルが高い二輪車

- ・構造上の問題 (大型のバッテリー積載)
- ・二輪車への市場要求 (安価・軽量・小型)

原付領域 (通勤、通学、商用、業務用)

<電動化対応> 交換式バッテリー標準化による取り組み 小型・大型二輪車 (レジャー、ツーリング)

<電動化だけではない対応> 技術革新への技術開発 (電動化、ハイブリッド、水素、CN燃料等)



「カーボンニュートラル達成への貢献」に向けた自工会 取組み

政府や自治体と連携し、 「できることから着実にすすめる」

環境優位性が高い二輪車への考慮

- ・二輪車の多様な用途を想定したインフラ整備
- ・使用環境を踏まえた電動化免除の特例措置

【二輪EV および交換式バッテリーの利便性や課題抽出のための実証実験】

◇eやんOSAKA実証実験

・事業主体: 大阪府、大阪大学、自工会・実施期間: 2020年9月~2022年3月

・参加対象者: 大阪大学の学生、教職員(1期:3か月間、20名~25名)

·車両: 原付1種 Honda BENLY e: I

原付2種 Honda PCX (2021年10月~)

実証実験成果は 改めて発表の機会を設定 させていただきます。



「購入・利用環境の整備」に向けた 二輪車駐車場対策の活動

購入・利用環境の整備と社会・他モビリティとの共生

政策課題の方向性

実施施策

2030年ゴールイメージ

5.社会基盤の整備

- ① 地方公共団体、関係団体と連携した駐車場整備の推進と駐車場規制に対する提言
- ② 高速道路の二輪車料金の適正化に向けた 推進
- ③ 二輪車の通行帯確保と通行禁止規制解除 に向けた活動推進
- ④ 二輪車のあるべき車両区分と免許制度の見直し

■駐車違反件数の半減

- ■2025年に設定した駐車場目標数の達成
- ■高速料金車種区分独立
- ■高速料金普通車の半額
- ■料金所ETC利用率100%
- ■二輪車が安全に走行できるレーンの確保
- ■時代の変化に対応した車両区分の見直し



「購入・利用環境の整備」に向けた 二輪車駐車場対策の活動

二輪車の駐車環境改善の促進とユーザーの駐車場利用啓発を実施していくため、二輪車企画部会では、日本二普協とタッグを組み下記事項につき活動を行っている。

- ▶国交省等関係省庁や東京都等主要な自治体と情報 交換を行うと共に、駐車場整備の拡充を求める
- ▶日本二普協の協力を基に、駐車場関連団体と民間駐車場事業者に二輪駐車場整備への参入を働きかける 等二輪車駐車場整備への協力依頼



➤ 二輪車普及安全協会の全国バイク駐車場案内から、駐車場数の推移や、ユーザーの声を確認している。



ホーム

防犯

バイクの楽しみ

利用環境

油通槽

地域の活動

食金について

0

全国バイク駐車場案内

ご案内

- 駐車場情報は、細心の注意を払って掲載しておりますが、現状と異なる場合がございます。ご利用前には必ず料金等をご確認下さい。
- 掲載されている駐車場は当協会で管理・運営しているものではございません。

現在登録されている駐車場 27,037 箇所

時間貸	月極				
駐車可能	車両を変更	☑ 50cc □【予約	■ 51cc~125cc 制】の駐車場を除く	☑ 126cc以上	□記載なし
Q. 目的地	から検索		例) スカイツリー	· 六本木1丁口	ŧ
Q 都道府	県・市区町村	から検索	都道府県を選択して	て下さい	~ t



▶ 二輪車普及安全協会の全国バイク駐車場案内から、駐車場数の推移や、ユーザーの声を確認している。



バイクの楽しみ 利用環境

地域の活動

協会について

Q

全国バイク駐車場案内

駐車場リクエストデータダウンロード

当ウェブサイト「バイク駐車場、ここにつくって!要望フォーム」より寄せられた駐車場を作ってほしい場所のデータをダウンロードできます。

2020年4月~2021年3月 エクセル(77kb) 2016年4月~20

エクセル(70kb)

2019年4月~2020年3月

2018年4月~2019年3月

2017年4月~2018年3月

エクセル(58kb) ---

エクセル(105kb) ---

エクセル(151kb) ---

2015年4月~2016年3月

2014年4月~2015年3月

エクセル(42kb) ---

エクセル(41kb) -->



▶ 駐車場リクエストデータの抜粋 ユーザーの生の声を確認できる。

一時間の料金 (許容範囲) ▼	ーヶ月の料金 (許容範囲) 🔽	排気量	上記情報の補足内容、ご要望、などを入力してください。	年齢	性別	職業
なし	5000	50cc	この辺り、全くと言っていいほど駐車スペースがなく、江東区?が管理している、明治通り沿いの無料自転車置場はあるが(駐輪スペースに 止められる規定内の筈なのに)50ccはだめと言う。江東区はバイクに本当に厳しい地域で、絶望しかない感じです…。切ない、愛車を近くに	40代	女性	その他
			置いおきたいのに…。			
なし	なし 5000 51cc~125cc		購入したいのに、バイク駐車場はすごく高いところか埋まってしまっています。原付なので1万円越えの駐車場台は払えません	30代	女性	会社員/公務員
			空きスペースはありそうなのに…			
なし	5000	1126cc以上	武蔵小金井駅周辺に原付の駐車場はありますがガラガラの状態です。400ccまで利用可能にしたら利用者も増えると思います。駐車場をガラ	50代	女性	会社員/公務員
			空きにするのはもったいないので利用制限を解除してほしいです。 1番近くの空きありの駐車場が1駅隣で、そこから更に10分のところにあります。			
なし	5000	126cc以上	1年近くの主さめりの紅羊物が15(時で、そこかり更に10万のところにめりより。 賃貸アパートなので家には置けません。	20代	女性	会社員/公務員
<i>'& C</i>	3000		大型二輪購入検討していましたが、駐車場が無いため、購入に踏み切れません。よろしくお願いします。	2016	XII	五任兵/五仞兵
			文京区はそもそも行政運営のバイク駐輪場がなく、特に春日二丁目はバイク駐輪場の絶対数が少ないため、あったとしても軒並み満車で、バ			
なし	8000	51cc~125cc	イク自体の新規が購入できない状態です。コロナ禍でできるだけ公共交通機関を避けたいのに、バイク駐輪場がないためにバイクを購入でき	30代	男性	会社員/公務員
			ない、使えないという状況に大変困っています。			
			待ちに待ってバイクを購入したのですが、先日プラウドシティでは			
			バイクの駐車場の半分を自転車の駐輪場にしてしまいました。			
なし	5000	126cc以上	管理人の方に聞いてみると空き次第借りたい住人が多くいるとお聞きしました。	20代	男性	会社員/公務員
			元々マンション内の駐車場は2000円で借りれるのですが周囲の駐車場は16000円代とかなり割高になってしまいます。			
			管理業者が野村パートナーズということもあり、ただの住民である私では要望を聞いていただけることさえできません。			
			夢の島駐車場が工事に伴い閉鎖になってしまい近辺に時間貸しの駐車場が1ヶ所も無い状態です。			
200	なし		原付は上記の駐輪場があり駐輪できてますが原付以上のバイクは利用規約で利用不可になってます。	30代	男性	会社員/公務員
			因みに規約を無視して原付以上のバイクが多く止まってます。			
			武蔵境駅には膨大な自転車駐輪場がありますが、自動二輪車を置けるバイク駐車場がまったくありません。以前はイトーヨーカドーに置けま			
			したが、今は125ccまでになってしまって、皆無になりました。自転車駐輪場を少しあけてもらい、10台くらいの自動二輪車が止められる場			
なし	なし	126cc以上	所を作って欲しいです。駅周辺なので駐禁取り締まりは厳しく止める場所がありません。	30代	女性	会社員/公務員
			以前ヨーカドーに自動二輪が止められたときは、頻繁に満車になるくらい、需要はありました。高架下など自転車にばかり割り当てず活用し			
			て欲しいです。			





	2021							2022			
全国	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
場数	23595	23781	24480	24890	25168	25498	25794	26,166	26624	27021	27396
掲載増数	316	186	699	410	278	330	296	372	458	397	375



- ■自工会では全国の駐車場実態を、二輪車普及安全協会の『全国バイク駐車場案内』に 登録された駐車場箇所数をもって数的な進捗管理および分析を行っている。
- ■12月末〆データを分析すると、駐車場種別での登録件数の推移は変わらず。 月極駐車場、予約駐車場(akippa 等)が増加傾向の中、非予約駐車場(コインパーキング等) は微減傾向となっていることがわかる。

・駐車場種別毎の 登録件数の推移(R3年11~12月)

駐車場種別	R3年11月	R3年12月	増減数
月極	7,765	7,874	109
非予約 時間貸し	1,708	1,705	-3
非予約 時間貸&月極	1,324	1,325	1
予約制 時間貸(akippa等)	15,369	15,720	351
総計	26,166	26,624	458



自治体への取り組みについて

- ■「自治体の二輪車駐車場・事例集2021」を基に、本年3月4日に開催された国交省全国駐車場担当者会議にて、全国自治体に向けて好事例の紹介と、二輪車駐車場設置の依頼、働きかけを行った。
- ■2022年度の取り組みとして「自治体の二輪車駐車対策の現況・令和4年調査」を実施予定
 - ▶ 2008年に実施された調査のアップデート版を作成 2008年度作成版
 - ⇒https://www.jama.or.jp/motorcycle/environment/pdf/provision_localgovernments.pdf
 - ▶ 東京都特別区23区、東京都26市、政令指定都市20市のなかから二輪車の駐車需要が高いと思われる 合計50自治体程度を選定し実施。
 - ▶ 近年、地方自治体(とくに東京都の区・市)による新規の二輪車駐車場整備が乏しくなっており、自治体 主導の積極的な二輪車駐車対策があまり見えてこない。
 - 主要な地方自治体を対象に、自動二輪車の駐車問題に関してどのように取り組んでいるかアンケート調査を 実施し現状を把握、調査結果から二輪車駐車場整備拡大へ課題を洗い出し、国、自治体、それぞれの役割を考察し、提言へとつなげる。



seatimization amount 7

自治体への取り組みについて

- ■2021年に「二輪車駐車場・事例集2021」を自工会にて作成。 自治体主導で整備された二輪車駐車場全国 7都市区を解説。 (仙台市、東京都、町田市、名古屋市、箕面市、神戸市、福岡市)
- ■自工会HPに掲載

https://www.jama.or.jp/motorcycle/environment/pdf/JAMA_MCPJ_Complete_M.pdf







「快適楽しさの訴求」に向けた自工会 取組み

資源開発

快適・楽しさの訴求

政策課題の方向性		2030年ゴールイメージ
0.若者、潜在ユーザー への情報発信	① 若者、潜在ユーザーに向け二輪車の魅力を伝える 為の発信内容とその適切な発信手法の検討① 関連趣味・娯楽の業界団体とのコラボレーション企画 検討 (キャンプ、ファッション、e-sports等)	■二輪車への好感度30% (2021年 21% → 2030年 30%*) *2021年8月 自工会調べ
1.地方公共団体と連携 した取組み・仕組み作り	① 二輪車の魅力を伝えるイベントの開催・他地方公共 団体への横展開や二輪車の有用性を活かした観光	■インバウンドも含めた バイクツーリズムの活性化



「快適楽しさの訴求」に向けた自工会 取組み

■若者、潜在ユーザーへの情報発信

- ・バイクを核とした若者のコミュニティー形成&二輪免許取得促進事業
- ・MOTO INFOによる情報発信事業
- ・バイクの日 HAVE A BIKE DAY イベント活動を通じた二輪車に有用性、魅力発信事業

■地方公共団体と連携した取組み・仕組み作り

・BLF関連イベントを通じた、地方公共団体と連携した、二輪車の魅力発信と地方公共団体 の活性化に貢献する事業



「快適楽しさの訴求」に向けた自工会 取組み

■バイクの日 HAVE A BIKE DAY 企画(案)

·開催日程 : 2022年8月19日(金)

・訴求テーマ : ・「バイクの日(8/19)」認知度向上

・ 二輪車の交通安全啓発、マナー向上、二輪車に有用性、利便性

・ 二輪車の楽しさ

・訴求対象 : ・二輪車ユーザーに限定することなく幅広い世間の人々

メインターゲットはウェブサイトやSNSを利用する若者層(15歳~34歳)

·開催概要 :

<会場> 都内(コロナの規制や暑さ対策、雨天に柔軟に対応できる会場)

<開催時間> 12:00 ~ 16:00 (予定)

<出演者> バイクを心より愛している、自他ともに認めるライダータレントを起用

く関連キャンペーン> SNSプロモーション (バイクの日に関するキャンペーン&コンテスト) を実施

・その他:新型コロナの感染状況により、イベント内容の変更・中止の可能性がございます。



appendix



二輪車産業政策ロードマップ2030 概要

